

平成24年度 地域教育力推進モデル校（春スタート5校）の進捗状況

奈良市立若草中学校

中学校が核となり、幼小高と連携し、地域教育力の向上に取り組む地域

○ 部活動支援・巡回を実施

・職員会議の日の部活動巡回ボランティア（保護者）を募集し、ボランティア2、3人と教員とが一緒に巡回。2学期より6回実施。

○ 中学3年生学習会を実施

・進路実現に向け、より確かな学力をつけるため、3年生の学習支援ボランティアを募集し、中学3年生学習会が、学校図書室でスタート。4名～8名のボランティアが活動。

【実施済】

- 校区指導協議会（生徒指導担当教員が参加）を開催し、熟議を実施
- 若草中運営委員会〈学校コミュニティ協議会〉を開催



部活動巡回ボランティア
（若草中学校）

大和郡山市立郡山南小学校

古くから地域に根ざし、学校を支援しようとする組織がある地域

○ 郡山南小学校外堀緑地清掃活動の取組を実施

・熟議を行い、校門前の外堀緑地清掃活動を実施。5、6年生を中心に公園課の職員、自治会長も参加。市長も激励に訪れた。

○ 「白狐おどり」の取組を実施

・源九郎稲荷の方や行政の依頼を受け、「白狐おどり」の発表会を実施。当日、中村勘九郎氏と交流。

【実施済】

- 読み聞かせ、読書環境の整備について熟議を実施
- 学校の金魚クラブへの支援
- 学校図書ボランティアと協働で「学校で地域つなぐ」イベントを実施



外堀緑地清掃活動
（郡山南小学校）

大和高田市立浮孔小学校

学校を保護者・地域住民が中心となってサポートしている地域

○ 昔遊びコーナーの創設（ふれあいコミュニティ部）

・熟議を重ね、全校お楽しみ会で、初めてふれあいコミュニティのメンバーが昔遊びコーナーを設置し、活動に参加。

○ あいさつおさんぽたいが始動（安全コミュニティ部）

・熟議を重ね、いつでも・どこでも・気持ちをよく挨拶ができるよう、かわいい絵柄の缶バッジを作成。

【実施済】

- 地域色のある運動会（おかげおどり）地域と協働して実施
- 人権教育地区懇談会を開催し、熟議を実施
- 第1、2回「うきあなネットワーク」を開催、各部会で熟議を重ね、読み聞かせ等を実施



昔遊びコーナー
（浮孔小学校）

香芝市立二上小学校

新興住宅地が開発されて、これまでの校区が新たに拡大されている地域

○ 運動会の観覧マナー向上の取組（体育指導部）

・熟議を重ね、保護者の観覧席を立ち見で入れ替え制に変更。観覧マナーが向上。

○ あいさつ運動を計画（生徒指導部）

・児童会で「あいさつ運動」を企画し、生徒指導部で熟議を重ね、あいさつ川柳の応募やたすきを作成し、あいさつ運動を実施予定。

【実施済】

- 第1、2回二上コミュニティ推進委員会を実施。定期的に各部で熟議を行い、堆肥づくり、葉ボタンチャリティー（勤労生産部）危険箇所点検（生活安全部）チャレンジ食事マナー週間（健康教育部）などを実施



運動会での観覧の様子
（二上小学校）

下市町立下市小学校

学校統合により校区が拡大され、地域の教育力の再構築が必要な地域

○ グランドゴルフ大会を実施（地域コミュニティ保健体育・食育）

・熟議を重ね、校区の老人会の方の奉仕作業の後、4年生が、グランドゴルフ大会を実施し、交流を深めた。

○ 区長等による第2回「教育懇談会」を実施予定

・各地域コミュニティの取組を総括するため第2回教育懇談会を予定。

【実施済】

- 統合前の旧小学校を訪問する社会見学を地域コミュニティ（文化研修）で熟議を行い、実施
- 地域花いっぱい運動を地域コミュニティ（特別活動）で熟議を行い、実施



グランドゴルフ大会
（下市小学校）

平成24年度 地域教育力推進モデル校（秋スタート10校）の進捗状況

学校名	大和高田市立菅原小学校	大和郡山市立治道小学校	桜井市立桜井中学校	五條市立五條西中学校	御所市立葛上中学校
学校、地域の様子	児童数280名。古くからの農村地域と県営住宅、マンションが混在する地域。	児童数68名。農村地域にあり、家族的な雰囲気を残した地域。	生徒数729名。山間部の農村地域から、駅前の商業地域を含む広い地域。	生徒数279名。農村地域と新興住宅地域があり、教育に対する理解と関心が高く、協力的な地域。	生徒数100名。御所市中西部に位置し、牧歌的な田園地域。
取組	<p>○読書タイム等の支援</p> <p>読書タイム等で図書ボランティアコミュニティ部が絵本の読み聞かせや紙芝居を実施。部会では、「読書の時間が少ない」という課題解決のための熟議を実施。</p>	<p>○治道元気プログラムを実施</p> <p>地域・公民館クラブ・認定こども園との連携・協働を、多様な分野で推進。この中で、こども園との熟議のもと、新たに「いのちの学習プログラム」がスタートした。</p>	<p>○地域安全点検と花作り</p> <p>地域連携会議における熟議を通して、地域安全点検、PTAと生徒が協働して心のこもった卒業に向けた花作り等の取組。</p>	<p>○地域との一体感を育む活動</p> <p>生徒会主催のクリーン活動を行うにあたって、地域ボランティアを募集。初めて保護者、地域の方が参加。</p>	<p>○学校コミュニティ協議会による学習支援</p> <p>キャリア教育の講師として地域で活躍している方を招聘。キャリア教育の内容が、より充実した。</p>
学校名	生駒市立生駒東小学校	生駒市立鹿ノ台小学校	田原本町立北小学校	明日香村立明日香小学校	明日香村立聖徳中学校
学校、地域の様子	児童数660名。駅前の大型マンション、新興住宅地を含む地域。	児童数597名。旧村地区と30数年前に開発された地区、最近開発された地区からなる地域。	児童数236名。旧村地区で保護者や地域の方の学校への関心が高く、協力的な地域。	児童数236名。幼・小・中一貫教育に取り組む地域。	生徒数165名。幼・小・中一貫教育に取り組む地域。
取組	<p>○老人会グループとのグラウンドゴルフ大会</p> <p>地域との交流で2年生と老人会グループがグラウンドゴルフ大会を実施。その後、初めて老人会の方との意見交換の場をもった。</p>	<p>○地域清掃活動の実施</p> <p>毎年秋に数回実施される自治会主体の通学路落ち葉清掃活動を、育友会も主体となって活動し、その中から自発的に参加する子どもたちが出てきた。</p>	<p>○子どもを犯罪から守る活動の推進</p> <p>子どもの登下校の見守り活動を行うとともに、年5回の定例会では、学校と地域の情報交換を行っている。</p>	<p>○地域の方と協働したマラソン大会の開催</p> <p>マラソン大会の運営についてPTA、地域の方と熟議。準備体操や安全面の協力により全学年でタイムを記録。</p>	<p>○郷土学習プログラム「あすか学」の実施</p> <p>郷土学習プログラムで「あすか学」を実施。和太鼓、棚田、ベンチ作り等、地域の方が積極的に関わっている。</p>

平成24年度 地域教育力推進モデル校15校のメリット及び本県の課題解決に向けて

メリ ッ ト と し て

本県の課題解決に向けて

子ども

- ・ 上級生としての自覚ができた
- ・ 自発的に取組に参加をするようになった
- ・ 地域の行事に主体的に関わるようになった
- ・ 地域を知り、誇りに感じるようになった
- ・ 子どもと地域が親しくなった

教職員

- ・ 地域に親近感を感じるようになった
- ・ 学校行事の際のクレーム対応が減った
- ・ 新たな取組を模索するようになった
- ・ つながりを意識した取組を考えるようになった
- ・ 自ら関わる発想への転換
- ・ 教師本来の職務への自覚と、多様な価値観の共有

保護者・地域

- ・ 参加者の意識が前向きに変化した
- ・ 組織を見直す契機となった
- ・ 学校を誇りに思うようになった
- ・ 当事者意識をもって参加できた
- ・ 学校への理解が進んだ
- ・ PTA広報紙や地元メディアの活用が進んだ
- ・ 果たすべき役割を共通認識

取組全体として

- ・ 既存の取組を見直す契機となった
- ・ 事業に発想の転換が生まれた
- ・ 熟議を通じて課題が見え、共通理解が進んだ
- ・ 学校・地域の双方向の情報発信ができた
- ・ PTAや他の団体との連携が進み、組織が見えるようになった
- ・ 地域と教職員とのコミュニケーションが増えた
- ・ 地域の方々の好意や熱意を感じた

本県の課題解決へのステップ

- 学校コミュニティ（奈良モデル）の組織化
- 学校、保護者、地域住民が課題を共有
- 課題解決に向けて、学校、保護者、地域住民が熟議
- 学校と保護者、地域住民との協働を推進
- 子どもの姿や教職員、保護者、地域住民の意識変化

社会的な絆や帰属意識の高まり

規範意識・社会性の向上へ